

2026

第13回科学技術教育フォーラム

「一人ひとりの可能性をひらく探究と科学的問題解決」

— 探究の質保証・AIの適正位置づけ・全国実装に向けて —

AIに駆動された科学技術が急速に進展し、社会や経済も大きく変わりつつあります。こうした時代にあって、初等中等教育では、教科の知識や技術を活かす「科学的問題解決」に支えられた「探究」活動の役割が学びの基盤として重要になっています。探究的活動では、生徒一人ひとりが自ら問いを立て、事実に基づいて考え、異なる意見を持つ人々とも議論・協働しながら、課題の解決に挑戦します。社会にとって何が大切か、社会に自分はどうのように貢献できるかといったことを学校の仲間と共に考えることで、AIの役割が大きくなる時代にあっても、生徒一人ひとりの自立的成長の可能性が拓け、よりよい未来を創り出す社会人に育つことが期待されます。

本年は、次期学習指導要領の策定が進む重要な節目にあたり、「探究」や「深い学び」をどのように質の高い学びとして実現し、子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばしていくかが改めて問われています。

本フォーラムでは、「探究」と「科学的問題解決」を共通の視点として、学校教育と企業教育、学習指導要領と産業界の期待、AI活用と人間の成長との接点を探ります。産業界を代表するお二人には、不確実性の高い社会で求められる人材像、顧客視点に立つ課題解決、人を育てる組織文化について、さらに、文部科学省主任視学官には質の高い「探究」と次期学習指導要領への展望をご講演いただきます。人工知能学会長にはAI時代における人とAIとの望ましい関係についてご提言いただきます。また、高校現場における実践報告を通じて、科学的問題解決を基盤とした探究教育の実装可能性も共有します。本フォーラムが、次期学習指導要領を見据えながら、将来を担う子どもたち一人ひとりの豊かな可能性を伸ばし、よりよい社会の実現につなげる教育の在り方を産官学がともに考える機会となることを願い、多くの方の参加を呼びかけたいと存じます。

1. テーマ 『一人ひとりの可能性をひらく探究と科学的問題解決』

2. 日時 令和8年 10月18日（日）13時00分～18時00分

3. 開催 統計数理研究所 大会議室・Zoom ハイブリッド開催

4. 参加費 無料

5. プログラム（敬称略、詳細は裏面をご参照ください）

第1部 講演 司会：立正大学 教授 渡辺 美智子／実践女子大学 教授 竹内 光悦

- ・“一人ひとりの可能性をひらく探究と科学的問題解決”— 探究の質保証と人間の成長に向けて —
日本品質管理学会TQE特別委員会委員長・同学会元会長 鈴木 和幸
- ・不確実性を増す社会で活躍できる人材の育成 — 学校教育と企業教育の有機的な協調関係 —
日本科学技術連盟 前理事長／トヨタ自動車 元副社長 佐々木 真一
- ・“顧客視点からの課題解決”から始まる学び
— コマツの科学的問題解決が育ててきた“前向きに生きる力”—
コマツ特別顧問／コマツ元社長・前会長 大橋 徹二
- ・多様な子供たちの『深い学び』を確かなものに — 質の高い探究の実現に向けて —
文部科学省 初等中等教育局 主任視学官 田村 学
- ・到来するAI社会における人とAIとのあるべき関係とは？
一般社団法人 人工知能学会 会長 栗原 聡
- ・高校生の生きる力を高める問題解決授業の実践
クオリティ・クリエイション 代表取締役 古谷 健夫

第2部 総合討論

座長：昭和女子大学 理事長 椿 広計

6. 共催・協賛・後援（予定）

共催：日本品質管理学会、統計数理研究所、日本統計学会、応用統計学会

協賛：日本科学技術連盟、日本規格協会、統計関連学会連合、横断型基幹科学技術研究団体連合
日本クオリティ協議会

後援：文部科学省、総務省、日本信頼性学会

7. 申込み 申込みサイトへは下記URL、または、右のQRコードよりアクセス下さい

URL：https://jsqc.org/13tqe_f/8. 問合せ先 E-mail tqe.office@gmail.com

申込みURL



プログラム (敬称略)

※講演タイトルならびにプログラムは変更の可能性がございます

司会：立正大学 教授 渡辺 美智子／実践女子大学 教授 竹内 光悦

第1部 講演

13:00 ～ 13:30 開会挨拶および趣旨講演

“一人ひとりの可能性をひらく探究と科学的問題解決”

— 探究の質保証と人間の成長に向けて —

日本品質管理学会TQE特別委員会委員長・同学会元会長 鈴木 和幸

13:30 ～ 14:05

不確実性を増す社会で活躍できる人材の育成

— 学校教育と企業教育の有機的な協調関係 —

一般財団法人日本科学技術連盟 前理事長

／トヨタ自動車株式会社 元副社長 佐々木 真一

14:05 ～ 14:40

“顧客視点からの課題解決”から始まる学び

— コマツの科学的問題解決が育ててきた“前向きに生きる力” —

コマツ 特別顧問／コマツ 元社長・前会長 大橋 徹二

14:40 ～ 14:50 休憩

14:50 ～ 15:35

多様な子供たちの『深い学び』を確かなものに

— 質の高い探究の実現に向けて —

文部科学省 初等中等教育局 主任視学官 田村 学

15:35 ～ 16:10

到来するAI社会における人とAIとのあるべき関係とは？

一般社団法人 人工知能学会 会長 栗原 聡

16:10 ～ 16:35

高校生の生きる力を高める問題解決授業の実践

株式会社クオリティ・クリエーション 代表取締役 古谷 健夫

第2部 総合討論

16:40 ～ 17:55

座長：昭和女子大学 理事長 椿 広計

テーマ：探究の質保証・AIの適正位置づけ・全国実装をいかに進めるか

— 一人ひとりの可能性をひらく探究と問題解決に向けて —

登壇者：講演者各位

17:55 ～ 18:00 閉会挨拶

昭和女子大学 理事長 椿 広計